ダイコク電機株式会社
2022年11月25日

2023年3月期 第2四半期決算説明会 質疑応答要旨

日時： 2023年11月25日（金） 10時00分～　場所： Web 形式
出席者： 代表取締役社長 大上誠一郎、常務取締役 大成俊文、
執行役員 経営企画室 室長 尾関貴夫、制御システム事業部長 平光和幸

Q1
情報システム事業、制御システム事業、それぞれの業績について詳しく教えてください。

A1
＜情報システム事業＞
スマート遊技機のリリースは期初からアナウンスされていましたが、6月にパチスロ6.5号機が登場し稼動が回復してきたことで、スマート遊技機に対するホール様の期待は高まり、導入に向けた設備投資が一気に動き出しました。

上期の製品販売は、ホール様から多くの発注をいただき、全力で部材調達にあたりましたが、結果的に販売台数や納品期日の調整を行うこととなり減収となりました。一方、利益は増益となりましたが、いくつかの要因があります。

まず、ホールコンピュータXのシステムアップ案件が、既存店で増加し普及が進んだ点です。今週11月21日に市場導入されたスマートパチスロについては、Xを導入すれば更に最適なデータ分析が可能となるため、導入に先立ち上期におけるXの導入が、前年同期比で約60％プラスと想定以上に進みました。2019年のリリース後、累計で1,000店舗を超えるホール様に導入いただいております。

また、高収益となるMIRAIGATEサービスの各売上が増加した点です。閉店する店舗はユーザー企業内でも一定数ありますが、そこをカバーする増加率となっています。こうした要因の積み上げにより、上期は当初の予想よりも大幅な増益となりました。

下期については、スマート遊技機の普及に伴う関連設備の販売が好調であり、通期売上は増収を予想しています。一方、利益も通期は増益を予想していますが、前期に発表した中期経営計画の達成に向け、クラウドサービスを行う上での基盤となるサーバー開発への設備投資や、Market-SIS、クラリスリンクといった様々なMGサービスへの機能追加、付加価値向上などの開発を積極的に行う予定です。

＜制御システム事業＞
今期は、取引先遊技機メーカーの民事再生手続きによる貸倒引当金を計上したこと、そして中期経営計画でお伝えしたように、事業の中心をパチンコからパチスロへと移行すべく、パチスロへの投資を積極的に行うため、減収減益を予想しています。

投資については、ハード面ではスマートパチスロ筐体への投資、ソフト面ではM&A等による開発力強化を推し進めており、2年後の市場投入を目指しています。

Q2
スマート遊技機ですが、パチンコホールにとっての導入メリットを教えてください。

A2
資料3ページに記載していますが、低調だったパチスロの稼動は6.5号機の登場により回復し、9月には前年同月比100%を超えました。更に、今週11月21日に導入が始まったスマートパチスロですが、遊技性は現行の6.5号機より確実に向上しており、ホール企業はスマートパチスロによる来店ファン数、遊技時間の増加を大いに期待しています。

その他にも、メダルレスになることで、物理的な不正行為・ゴト行為が不可能となります。ホール企業のゴト被害額は毎年決して小さくはなく、セキュリティ対策に関わるコストも削減されます。また、スタッフのメダル計数作業や開閉店作業などの業務負担も大幅に削減され、メダルの補給・回収システムも不要となり一部のシステムが停止となることで、騒音の削減効果もあります。結果、稼動する設備機器が減るため消費電力も削減され、メンテナンスなど修繕コストの改善にも繋がります。

今後、スマート遊技機のシェアが高まれば高まるほど、ホール経営の省力化、省人化、コスト削減に大きく貢献すると考えています。

Q3
スマート遊技機の普及が、貴社の業績に与えるプラス要因を詳しく教えてください。

A3
スマート遊技機に対するホール様の期待値は高く、関連設備への需要は旺盛となっていますが、ホール様がスマート遊技機を導入する場合、様々な設備が必要となります。まず、スマート遊技機1台に対し、遊技機を管理・作動させるための「専用ユニット」という設備が1台必須となります。当社の製品では、資料15ページに掲載しているスマート遊技機専用ユニット「VEGASIA」です。

スマート遊技機の普及により、スマート遊技機専用ユニット「VEGASIA」の販売台数が伸び、更には、こちらもスマート遊技機と1対1で必須となる中継基板（HC-BOX）の販売・付帯工事も発生し、普及期においては長期的に業績に繋がります。

またスマート遊技機に多様な遊技性能が加わることで、ホールコンピュータXでの新たな「シミュレーション機能」、情報公開機器での「データ表示機能」が必須となり、更なる設備投資の活性化も期待できます。このように、スマート遊技機が普及すればするほど、当社製品の販売は継続し、業績に大きなプラス要因となります。

以　上